

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 8 月 9 日(2022.8.9)

【公開番号】特開 2021-23390(P2021-23390A)

【公開日】令和 3 年 2 月 22 日(2021.2.22)

【年通号数】公開・登録公報 2021-009

【出願番号】特願 2019-140992(P2019-140992)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 7 月 30 日(2022.7.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定条件の成立に基づいて識別情報を変動表示する識別情報表示手段と、
前記識別情報の変動表示に伴って、所定の遊技演出を実行可能な遊技演出実行手段と、
前記遊技演出に伴って所定の遊技音を出力可能な音出力手段と、
遊技球が入球可能な入球可能状態と、遊技球が入球不能な入球不能状態と、に変化可能な可変入球口と、
前記識別情報の変動表示の結果が特定結果となると前記可変入球口を入球可能状態とする特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、を備えた遊技機であって、
前記遊技演出として、第 1 特定遊技演出と第 2 特定遊技演出とを有し、
前記第 1 特定遊技演出に伴って出力される前記遊技音の音圧の大きさと、前記第 2 特定遊技演出に伴って出力される前記遊技音の音圧の大きさと、が異なるものとされ、
前記遊技音を、特定量よりも大きい音圧で出力可能な特定期間と、
遊技者が入力可能な入力手段と、を備え、
前記特定期間における音圧を前記特定量よりも大きい音圧とするかどうかを、前記入力手段への入力によって選択可能とする
ことを特徴とする遊技機。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

40

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

前述の課題を解決するための第 1 発明の遊技機は、
所定条件の成立に基づいて識別情報を変動表示する識別情報表示手段と、
前記識別情報の変動表示に伴って、所定の遊技演出を実行可能な遊技演出実行手段と、
前記遊技演出に伴って所定の遊技音を出力可能な音出力手段と、
遊技球が入球可能な入球可能状態と、遊技球が入球不能な入球不能状態と、に変化可能な可変入球口と、
前記識別情報の変動表示の結果が特定結果となると前記可変入球口を入球可能状態とす

50

る特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、を備えた遊技機であって、
前記遊技演出として、第１特定遊技演出と第２特定遊技演出とを有し、
前記第１特定遊技演出に伴って出力される前記遊技音の音圧の大きさと、前記第２特定
遊技演出に伴って出力される前記遊技音の音圧の大きさと、が異なるものとされ、
前記遊技音を、特定量よりも大きい音圧で出力可能な特定期間と、
遊技者が入力可能な入力手段と、を備え、
前記特定期間における音圧を前記特定量よりも大きい音圧とするかどうかを、前記入力
手段への入力によって選択可能とする
ことを特徴とするものである。

10

20

30

40

50